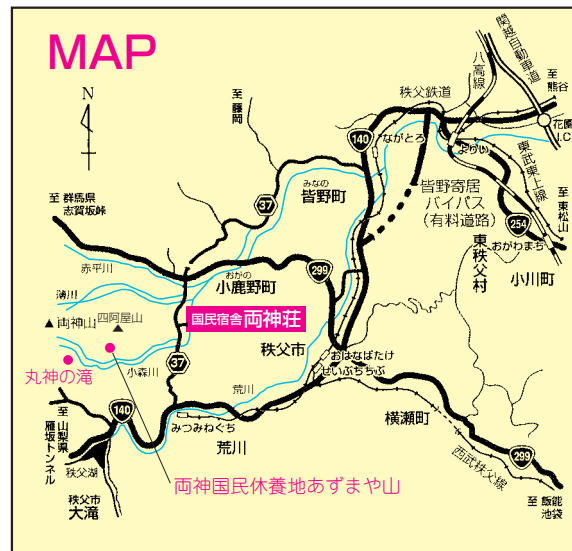




市民の皆さんの保養所
国民宿舎 しょうかみそう 両神荘



市では、今年4月から小鹿野町と契約し、町が経営する国民宿舎「両神荘」を保養所として越谷市民の皆さんにご利用いただいています。これからの季節は周辺観光スポットのほか、紅葉やハイキング、山の幸が盛りだくさんの鍋料理とお楽しみ満載の秩父路。ぜひ、ご家族やお友達といっしょに訪れてみてはいかがでしょうか？

両神荘施設案内

県内唯一の国民宿舎となった両神荘は、両神温泉から引湯した100%天然温泉(加温)のかけ流し露天風呂の宿として親しまれています(泉種:強アルカリ性のメタほう酸温泉)。

所在地
埼玉県秩父郡小鹿野町両神小森707

交通
西武秩父線「西武秩父駅」または秩父鉄道「三峰口駅」から「小鹿野町役場」行きバスで「薬師堂」下車徒歩3分
*車を利用の方は、右地図のとおり



平成17年8月完成の露天風呂

主要施設
和室36室、洋室4室、大浴場、かけ流し露天風呂(ひのき風呂、岩風呂)、宴会場、会議室(コンベンションホール200人収容、小会議室20人収容)、体育館(卓球・剣道・演奏)

料金(1泊2食付/大人1人)
平日:7,875円~10,500円
休日前等:8,925円~11,550円
*別途入湯税(150円)がかかります
*3歳未満のお子さんは無料。幼児・小学生料金あり



いのしし鍋などの特別料理(別料金)は要予約

3歳以上の越谷市民の方は1人1泊2,000円の割引を受けられます

【手続き】
宿泊予約時に越谷市民であることを伝え(オンライン予約の場合は通信欄に記入)、宿泊時に証明できるもの(免許証・被保険者証など)を提示してください。

●パパママ応援ショップ加盟店です
優待カードの提示で宿泊代(室料のみ)の20%割引を受けられます(例外あり)。

予約(6カ月前の1日から受け付けます)
オンライン:両神荘ホームページ (<http://www.chichibune.jp/ryokamis/>) から24時間受け付けます
電話予約:8:00~21:00に両神荘へ
*ただし、宿泊当日の予約は電話のみ受け付け
国民宿舎「両神荘」 ☎0494-79-1221

国民健康保険宿泊助成制度

越谷市国民健康保険(後期高齢者医療対象者を除く)に加入の方は、宿泊料の助成制度(1泊につき大人2,500円、子ども1,500円)があります。対象施設(下表のとおり)に宿泊したときに宿泊証明書を受け取り、後日、市役所国民健康保険課給付係(本庁舎1階)へ申請してください。

宿泊助成の対象施設		
名称	所在地	電話番号
宮本荘	小鹿野町長留495-1	☎0494-75-2272
梁山泊	小鹿野町般若260	☎0494-75-2654
赤谷温泉小鹿荘	小鹿野町三山243	☎0494-75-0210
両神荘	小鹿野町両神小森707	☎0494-79-1221
須崎旅館	小鹿野町小鹿野1815	☎0494-75-0024

*両神荘は市民割引と併用できます。詳しくは両神荘施設案内のとおりです
市役所国民健康保険課給付係 ☎963-9154

ときめきインタビュー



…プロフィール…

1955年1月26日東京生まれ。4歳からピアノを習いはじめる。大学卒業後、民族芸能の劇団に所属、キーボード奏者として47都道府県の公演に同行。1978年越谷に移り住む。1991年より作曲活動を開始。1996年、ファーストアルバム「海神」を発表。以後、「久遠の宇宙」「地球まほろば」「ESPERANZA~希望~」「天鐘」を発表する。国内国外での演奏活動のかたわら、被災地などを訪れ、傷ついたり人々の心を音楽で癒やす奉仕活動も行っている。

偶然の出会いが進むべき新たな道を開いた
「引越しの準備で初めて蒲生駅に降り立ったとき、あまりにも何もなくて、衝撃を受けました(笑)。自然が豊かなので、都心とは違う空気の清涼感があります。こうした越谷の環境の中で伸び伸びと子育てできたのは本当に良かったと思っています」

日韓の文化を享受する「ダブル」でいたい
キムさん自身の表現を借りると「大陸(韓国)を父に、島の風(日本)を母にして」1955年東京で生まれました。
「わたしには「ハーフ」という意識はなく、「ダブル」だと思っています。日本と韓国の芸術や文化をどちらも楽しむことができるのとてもぜひいたくなくだと思えますね。例えば、オリンピックの応援をしても、韓国が勝つとうれしいし、日本が勝つてもうれしい。ただ、両方負けると残念な気持ちも倍になりますけれども(笑)」

民族劇団のキーボード奏者として、多いときは年間200日も全国を旅していた当時のキムさんには、地元の人たちと交流する機会がほとんどなかったそうです。
そんなキムさんに一つの出会いがありました。地元の音楽家たちからコンサートへの誘いを受けてゲスト出演したとき、ボランティアの会「愛と夢のメッセージ」の代表・音楽プロデューサーの山本京子さんと出会ったことです。

以来15年、音楽を通して人々の心と身体に平安を与えたいというキムさんの願いは、山本さんの目指す社会貢献と共鳴し合い、二人三脚の足跡は、日本国内にとどまらず、世界に広がっています。
「わたしは「在日地球人」キムさんの顔がかいま見えるようです。与えられた楽譜を演奏する劇団の生活をやめ、作曲活動をはじめたのも、自分の音楽を人々の心に届けたいという極めて自然な欲求だったのかもしれない。」



作曲家・シンセサイザー奏者 **キム・シンさん**

「音楽で地球を丸ごと包みたい」。キム・シンさんの音楽に感動した宇宙開発関係者の粋な計らいで、セカンドアルバム「久遠(くおん)の宇宙(そら)」は2000年、宇宙飛行士・若田光一さんとともに14日間宇宙を旅し、文字通り地球を丸ごと包みました。偶然の出会いが新たな音楽シーンにつながるキムさんに、音楽を通して世界の人々の平和を願う思いなどを伺いました。

越谷市から世界に響くおだやかな癒やしの音色
悠久の宇宙や自然、深い精神世界を感じさせるキムさんの作品には、心と身体の平安を呼び起こす力があるといわれます。そのせいか、神社仏閣や国内国外の教会で演奏する機会も多いようです。また、阪神淡路大震災の慰霊と支援のチャリティーコンサート、コロナ肺炎号の事故で亡くなった宇宙飛行士たちへのレクイエム演奏(ケネディー宇宙センター)など、傷ついた心と身体を癒やすチャリティー演奏活動も精力的に行っています。
「やっているときはそれほど大したことをしている意識はありませんが、1986年のチェルノブイリ原発事故で被曝した隣国のベラルーシ各地で演奏したときの記録映像を見ると、本当にすごいことをしたんだなあと思いました。越谷にはこしがや能楽堂という全国に誇れる施設があります。隣接する日本庭園も素晴らしいですね。作品の発表の場としても最高の環境です。越谷で作曲した作品をこうした場所で市民の皆さんに聞いていただき、さらに世界の人々にも伝えることができたらいいですね。あまり先を見すぎると不安になりますので、足もとをしつかり見つめながら、地球のすべての人々が幸せな心になるためのお役に立てれば音楽家みょうりに尽きます」
越谷市は今年、市制施行50周年を迎えるのに当たり「平和都市宣言をするため現在準備を進めています。シンセサイザーの優しい音色で地球に住むすべての人々を幸せに包みこむキム・シンさんの活動と、世界の平和を願う越谷市の取り組みが響きあって、平和な社会の実現につながれば、こんなに素晴らしいことはないとお話を伺いながら思いました。」